



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 7月号

令和元年7月1日

校長 西田 素子



## 暑さに負けず、1学期のまとめをしよう！

先月27日からエアコンも稼働し、暑さが本格的になるこの時期、快適に学習に取り組めそうです。早いもので1学期の授業日も残り16日となりました。子どもたちは、4月より日々の生活を通してぐんぐん力を付け、大きく成長してきました。この付けた力を確かなものにし、達成感をもって夏休みを迎えられるよう、気を引き締めて1学期のまとめに取り組ませたいと思います。保護者の皆様、体調管理や家庭学習の定着にご協力のほど、よろしく願いいたします。

さて先週の木曜日、見守りボランティア、図書ボランティアの方々をお招きし、「ありがとう集会」を開きました。各学年から感謝の気持ちをこめた発表と、全校で書いたメッセージカードのプレゼントがありました。メッセージを読みながら、英田っ子とボランティアの皆様との素敵な心の交流を感じることができました。これからも、お世話になっている皆様に、一人一人が自分から挨拶することで、感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

### 【7月の目標】

学習：「1回で全員に伝わる声で話そう」

→「語尾までしっかりと話しきる。話し手の方を向いて話す。場に合わせて適量な声の大きさを意識する」ことができるように、授業中はもちろん、朝の会のスピーチや行事等で指導していきます。

生活①：「チクチク言葉をなくそう」

→使いたい言葉となくしたい言葉をクラスで考え、積極的にプラスの言葉を使っていく取組を進めます。ご家庭でも言葉遣いに気を付ける機会にさせていただけたらと思います。

生活②：「足の裏をはなさず、正しい姿勢で過ごそう」

→「背筋をピンと伸ばし、机とお腹の間をグー1個分あけ、足の裏をペタンと床に付ける」という正しい姿勢を合言葉にした「ピングーペタン」のうち、特に「聞く時、書く時、給食の時」のペタンを意識させます。



## 話を聴く時のルール・マナー・コントロール

英田小学校では、「聞く」と「聴く」の違いを意識させるために、右のような掲示物を各教室に貼っています。耳だけで聞くのではなく、目をつなげ心を傾けて「聴く」ことを大切にしているからです。

まず、顔を向け話し手と目をつなげて聴く姿勢は「マナー」として身に付けたい習慣です。また、心の傾け具合によって、集中するために聞こえる声や音を「聞き流す」、大事なことをとらえながら「聴き取る」、必要な時にそれを思い出して使えるように「整理し記憶しながら聴く」といった違いもあります。時と場によって「心をコントロール」し、うまく使い分けるとよいですね。

今日の集会で話した「話を聴く時のルール」が何だったか、しっかり記憶しながら聴くことができたか、ご家庭で話題にさせていただけたら幸いです。



### 6月の学習目標「ノートをていねいに書く」はできたかな？

学校では、これまで各クラスの廊下に「キラリさんノート」を掲示し、友達のノートのよさを自分のノートづくりの参考にする取組を進めてきました。

今月は、自分のノートの中から1番丁寧に書いたページを選び、教室背面に掲示する取組を行います。どのノートのどのページを1番に選んだのか、ご家庭でも実際にご覧いただけたらと思います。